



ほ な み

# 穂 立

第10号

令和6年1月29日発行

<https://toyoura.shibata.ed.jp> (随時、日記更新中!!)

## 新年を迎えて 一日一日を大切に 日常に感謝して！

校長 小嶋 修

新しい年を迎え、通常通り始業式を実施して3学期をスタートすることができました。この当たり前のことに改めて感謝しています。1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震は、様々なところで甚大な被害をもたらしています。1995年、阪神大震災でも現地に派遣された救助隊の方が、「今回経験した自然災害の悲惨さは想像以上だった」と述べています。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心からご祈念申し上げます。

2011年3月11日、東日本大震災（警察庁によると、2023年2月末現在、死者1万5900人、行方不明者2523人、死者不明を合わせて1万8423人）が起こりました。それから10年が経過した2021年3月、NHKの世論調査（RDD全国1237人回答）で、東日本大震災の風化が進んでいると思うかとたずねたところ、「そう思う」が29%、「ややそう思う」が42%で、合わせると約7割になりました。これについて、京都大学防災研究所教授である矢守克也さんは、「被災地と遠く離れて暮らしている人にとって、災害はどんどん遠のいてしまいます。そういう人に災害の記憶を伝えるのは非常に難しいです。また、伝える大切さもありますが、一方で被災した方の中には、とてもつらいことを思い出したくないという方々もいらっしゃいます。しかし、災害の経験と教訓をつないでいくことは、次の被害を防ぐためにとても大事なことです」と述べています。風化を防ぐ難しさと、その大切さについて考えさせられました。

6434人が亡くなった阪神・淡路大震災から29年を迎えた追悼行事において、竹や紙でできた灯籠約7千本を使い、「1995 ともに 1・17」という字がつくられ、明かりがともされました。この実行委員会によると、「ともに」という言葉には、能登半島地震の被災者に寄り添い、震災経験を若い世代と共に語り継いでいくという思いを込めたそうです。学校は一年の締めくくりの時期であり、3年生にとっては中学校生活3年間のまとめとともに、9年間の義務教育終了の大きな節目を迎える大変重要な時期です。希望の進路を実現し、胸を張って卒業してほしいと願っています。2年生は、修学旅行を成功させ、3年生からしっかりと伝統を引き継いでほしいと期待しています。今年は豊浦中学校創立50周年です。1年生は、4月から後輩を迎えます。先輩としての心構えと自覚を高めてほしいと期待しています。そして、被災地へ「ともに」という思いを寄せながら、今できることに全力を尽くし、一日一日を精一杯過ごしてほしいと思っています。

2学期末に実施した学校評価の結果及びご意見等への回答をお知らせします。今後の学校運営の工夫改善に生かしてまいります。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

## <生徒アンケートの結果>

	アンケート項目	7月	12月
1	平日の学習時間2時間以上	7	15
	平日の学習時間1時間以上2時間未満	50	40
	平日の学習時間1時間未満	43	45
2	授業の内容がよく分かる	95	94
3	授業の話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている	96	95
4	地域と連携（交流）する活動を通して、地域への興味・関心が高まった	92	90
5	学校生活が楽しい	98	94
6	学級の居心地がよい	97	97
7	あなたの行動は学校や学級で人の役に立っている	85	78
8	自分にはよいところがあると思う	84	81
9	先生はあなたのよいところを認めてくれている	95	94
10	学級や学年にあなたのよいところを認めてくれる人がいる	97	93
11	誰に対しても優しく接し、思いやりのある行動をとっている	97	96
12	あいさつを誰とでも積極的に交わしている	99	94
13	時と場に応じた礼儀正しい行動をしている	99	100
14	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している	85	84
15	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う	100	99
16	学校のきまりを守っている	99	99
17	将来の夢や希望をもっている	78	76
18	朝食を毎日食べている	94	88

## <知の分野>

【評価項目1】 「授業の内容がよく分かる」と答える生徒を85%以上にする

授業の内容がよく分かる（肯定的評価）→94%

A評価

【評価項目2】 「授業の話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている」と答える生徒を85%以上にする

自分の考えを広げたり深めたりしている（肯定的評価）→95%

A評価

### 【今後の取組】

教科の宿題や「自学ノート」への取組を中心に、日々の生活の中に1時間以上の学習時間を設けることができる生徒が半数を超えています。授業中は話をよく聞き、仲間との対話を通して思考力・表現力を深め、高めています。

これらの成果を維持しつつ、自分の学びを自分でコントロールできるよう、課題の出し方に工夫を加えようと考えています。「受け身の学習」から「主体的な学習」へと移行できるように支援していきます。

## <徳の分野>

【評価項目1】 「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒を80%以上にする

自分にはよいところがあると思う（肯定的評価）→81%

A評価

【評価項目2】 「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と答える生徒を100%にする

いじめはどんな理由があってもいけないことだ（肯定的評価）→99%

B評価

### 【今後の取組】

今年度も自己肯定感の向上を喫緊の課題として活動計画を立て、実践しています。感染症による活動制限が緩和され、学年を越えて関わる機会が増えました。生徒会本部、各学年委員会がスクールネットワーク活動とクラスミーティングを軸に、縦と横の絆を深める活動を企画し、実践しました。いじめ見逃しゼロスクール集会では、学区の豊浦小学校6年生が来校し、生徒会が考えた課題に中学生との縦割りグループで取り組みました。3学期は、3年生の卒業に向けたイベント活動を計画していきます。また、来年度も同和教育を中核にした人権教育を推進することで、一人一人の人権を尊重し合う温かい学級づくり、学校づくりを目指していきます。

## <体の分野>

【評価項目1】 体カテストで県平均以上となる種目（48種目）の割合を50%（24種目）以上にする。

体カテストの数値が、全県の平均値よりも上回った種目 →28種目

A評価

【評価項目2】 「平日のメディア（テレビやゲーム、SNSなど）利用の合計時間が2時間以下である」と答える生徒を60%以上にする

平日のメディア利用時間が2時間未満 →32%

C評価

※参考評価項目 平日のメディアの利用時間

時 間	R4.7月	R4.12月	R5.7月	R5.12月
3時間以上	22%	30%	26%	27%
2時間以上3時間未満	39%	25%	38%	41%
1時間以上2時間未満	35%	39%	31%	26%
1時間未満	4%	7%	5%	6%

### 【今後の取組】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、運動量が増えましたが、体カテストの結果を見ると、学年や男女で数値に差が見られる種目もあります。引き続き、体育の授業を中心に体力を高める運動を取り入れていきます。

健康面については、今年度も6月、9月、11月、1月の計4回「生活習慣チェックウィーク」を実施しました。1年生へは1回目のチェックウィーク前に長時間のメディア機器使用が心身の健康に及ぼす影響や睡眠について授業を行いました。しかし、平日のメディア機器の使用時間が2時間以上の生徒が多い状態です。今後も継続してメディア機器の長時間使用が心身に及ぼす影響を指導していきます。

## <保護者アンケートの結果>

	アンケート項目	7月	12月
1	お子さんは楽しく学校に通っている	89	90
2	お子さんは積極的にあいさつをしている	84	77
3	お子さんは授業の内容がよく分かっている		66
4	お子さんは学校のきまりを守っている	92	87
5	お子さんは毎日朝食をとっている	91	90
6	学校はお子さんのよいところを認め、伝えている	92	89
7	お子さんは毎日60分以上家庭学習をしている	49	37
8	お子さんの平日のメディア（テレビ、パソコン、ゲーム、携帯電話、SNS等）に接する時間は2時間以内である	77	70
9	お子さんはネットにつながる通信機器をもっている	96	96
10	お子さんのネット通信機器の使用について話し合いや約束をしている	89	89
11	お子さんはネット端末機器の使用を10時までとする「豊中SNSルール」を守っている	60	60
12	学校はたよりやHP等で生徒や教育活動の様子を伝えている	84	84
13	学校はいじめ問題の防止や解決に向けて適切に対応している	74	75
14	学校はお子さんの困りごと等の相談に誠意をもって対応している	84	84
15	学校は保護者・地域の声に耳を傾け連携・協力して教育活動を進めている	82	82

保護者アンケートで、給食着の個人所有、雪が降るまでの自転車通学、インターネット機器使用への指導についてご要望をいただきました。給食着は、豊浦小学校の動向も踏まえて、次年度のPTA総会等で協議を重ね、個人所有の方向で検討を進めてまいります。自転車通学については、生徒の命を守ることを最優先に考えています。今年度も天気予報等の情報を基に、雪が降る直前まで通学を許可しておりますのでご理解とご協力をお願いします。インターネット機器使用に関する指導も全校集会や教科等の指導で適宜行っていますが、ご家庭でも話し合い約束を守るご指導とご協力をお願いします。

また、教職員の言動に複数のご指摘をいただきました。真摯に受け止め、教育職員としての自覚と責任のもと、生徒の成長を願い、心に寄り添う指導に一層努めてまいります。

### 【2月の主な予定】

- 2月 1日（木）全校朝会 テスト強調週間・プランニングタイム（～2/6）  
 5日（月）諸校費口座振替日  
 6日（火）定期テスト④  
 7日（水）定期テスト④ 3年認知症講座（5限） ※2/15は、毎朝、挨拶運動にご協力いただいている民生委員・主任児童委員の皆様にご案内をして、授業参観等を実施します。  
 9日（金）2学年PTA学年懇談会 18:00～  
 14日（火）フッ化物洗口  
 15日（水）生徒総会・オープンスクール（作品展示）  
 16日（金）1学年PTA学年懇談会 18:00～  
 19日（月）生徒朝会 学校生活アンケート ※2年給食後下校  
 20日（火）～22日（木）2年修学旅行（大阪・奈良・京都）  
 21日（水）3年人権教育講演会（2、3限）  
 27日（火）吹奏楽部卒業コンサート PTA第2回運営委員会 18:00～  
 28日（水）専門委員会  
 29日（木）3年同窓会入会式（5限）

